

言語聴覚療法（Speech Language Hearing Therapy : ST）とは

聞く・読む・話す・書くなどコミュニケーションに障害のある方や食物の飲み込みが難しい方に対して評価・訓練・援助を行い、機能の維持や向上を目指しています。また、ご家族など周囲の方々へ助言・援助も行っています。主に以下の方を対象にリハビリを行っています。



失語症	脳の障害により聴く、話す、読む、書く、計算するなどが難しくなる障害です。
構音障害	呂律が回らないなど言葉が不明瞭になる障害です。
音声障害	声が小さい、かすれるなどの声の障害です。
高次脳機能障害	物の使い方がわからなくなる、注意が散漫になる、集中できない、記憶や判断が低下するなどの障害です。
摂食・嚥下障害	水や食べ物がむせる、咀嚼しにくい、飲み込みにくいなどの食べる能力の障害です。

また、当施設では認知症短期集中リハビリを加算しており、音読・計算・パズルなどの学習訓練療法や貼り絵・手芸などの作業療法を通して、認知症の進行予防や心のケアを行っています。

※認知症短期集中リハビリは、リハビリにより生活機能の改善が見込まれると医師が判断し、認知機能検査において概ね5～25点に相当する方を対象としています。



認知症のリハビリにて作品作り



失語症のリハビリ場面

コミュニケーションやお食事でお不安やお困りの方は、いつでもご相談下さい。